



歯ろはろ～新聞



発行/ 多田歯科医院

高松市木太町792-6

☎815-2010

ホームページ <http://www.tadashika.jp/>

今年の冬は日本各地が記録的な大雪に見舞われ、東京まで雪に覆われたことは記憶に新しいですが、早いものでもう3月です。時折感じる温かな風に“春の訪れ”を感じる日もありますね。さて、3月といえば『ひな祭り』があります。色鮮やかな雛人形は、見ている人の心を“ほっこり”させてくれますよね。そもそもこの雛人形とは、女の子の健やかな成長のために、その子の身代わりとなって厄を追い払うといった願いが込められているそうです。また、ひな祭りの祝いの膳にはよく「ハマグリのお吸い物」が登場しますが、どうしてハマグリなのか皆さんはご存知ですか？これは、春に貝類が美味しくなることに加え、ハマグリは貝類の中でも特に二枚の貝がぴったり合わさりあうことから、「夫婦和合の象徴」としての縁起物だからだそうです。『この子が将来良縁に恵まれますように』との願いが込められているのですね。ひな祭りは、身を清めることに加え、季節の節目を知ることも意味が込められているため、この時期旬を迎えるハマグリを食べることは、とても理にかなっているのではないのでしょうか。ちなみに、ハマグリ同様、祝いの膳に登場する「ちらし寿司」には、長生きの象徴である『エビ』、健康でまめに働ける『豆』、世の中の見通しがきく『れんこん』など入っていますが、こういった具材も縁起や彩りも良く祝いの席にふさわしいため、ひな祭りの定番メニューとなったそうです。ところで、実は『美味しいものを食べること』は、老若男女問わずとても“脳の活性化”に良いことがわかっています。最近の研究では、クラシック音楽を聴いたときに活性化する脳の部位と、美味しいものを食べて喜びを感じる部位は同じだということがわかっています。疲れた時、ストレスがたまった時に美味しいものを食べると、案外元気になってリラックス出来るのは、気のせいではなく科学的に証明されているのです。さて、3月は温かくなってきたとはいえ季節の変わり目です。年度末は何かと気忙しく、行事が続いてしまいがちですが、今月は女の子のいるご家庭だけでなく、これをお読みの皆様も、今が旬の美味しいハマグリを食べて元気にお過ごし下さいね。

あなたも
歯科通つうになれる…!?

歯科医が出題する“**歯とお口**”のクイズ

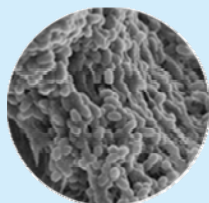
お口の中に潜む“**むし歯菌**”。このむし歯菌の正式名称は『**ストレプトコッカス・ミュータンス菌**』といいます。このミュータンス菌は、お砂糖をエサにして増殖し、歯の表面にくっついてネバネバした酸を作ります。そして、この酸によって歯が溶かされてむし歯になってしまうのです。

さて、ここでこんな問題を出題!

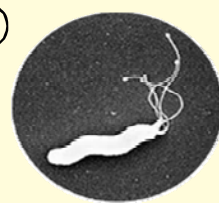
問題:

下の写真は細菌を顕微鏡けんびきょうで見たものですが、
この中で“**むし歯菌 (ミュータンス菌)**”はどれでしょう?

①



②



③

